



スポーツがうまくなるアプリ

応
般

与島大樹（株）だんきち

皆さんはスポーツレッスンといえばどのようなものを思い浮かべますか？

学校の授業，部活動，地域のスポーツクラブ，サークルなどが一般的ではないでしょうか。しかし，こうした従来のスポーツレッスンには，大きく2つの課題があると考えています。

1つ目は，一言でいえば「格差」問題です。まず，地域間の環境格差が挙げられます。東京や大阪などの都心部やその近郊ではグラウンドやアリーナなどの設備が豊富で，プレーヤや指導者も多く集まり，質の高い指導環境が整っています。その一方で地方では設備面や指導者の数など，都心に比べると環境が必ずしも十分とはいえないところが多く見受けられます。最近では地方自治体が街づくりの一貫としてスポーツを積極的に活用しようと投資を行っているケースもありますが，そうではないところとの地域間格差がますます広がっているといえます。そのため，より良い環境を求める学生のスポーツ留学や，子供のスポーツ離れの原因の1つにもなっています。また，経済力による格差も生じています。優れた設備，指導者の下でスポーツを学ぶためには，ときに多額の費用負担が生じます。学習塾と同じで，それを継続的に負担できる家計状況によって，プレーヤのスポーツ環境が変わってしまいます。「格差」は，教育を始めさまざまなところで社会問題となっていますが，今やスポーツの世界にさえおよんでいるのです。

2つ目は，教える側の「事業」の問題です。すなわち，教えることを事業として継続していくのが難しいという課題です。従来のやり方でスポーツレッ

スを事業として継続するためには，「集客コスト」「初期コスト」「運営コスト」などがかかるため，一定の収入が必要となります。長くアスリートとして競技に専念していた経緯がある場合，技術を教えることには慣れていても，いざ経営となると経験がない方が多く，事業として立ち上げ，継続するにはハードルが高くなります。トップレベルの競技経験を持ち，その競技の素晴らしさを何らかの形で伝えたいと思う元アスリートは数多くいますが，それを仕事として実現することは容易ではありません。実際，部活動や地域のスポーツクラブなどの指導は，多くの善意や熱意，ボランティア精神によって支えられていることも多いのです。

このスポーツレッスンの現場が抱える2つの課題は相互に影響をおよぼし合っているともいえますが，近年ではITの活用がその解決の一助になっています。私たち（株）だんきちの運営するアプリ『スポとも』では，スマホ1台で元プロスポーツ選手によるオンラインレッスンを受けることができます（図-1）。従来のスポーツレッスンは対面での指導のみでしたが，スマホやタブレットでフォームを撮影しその動画を送ると，それに対して指導者がスロー機能や描画機能に音声も添えて，改善すべき問題を分かりやすく解説します。また，コーチからお手本動画が送られたり，メンタル面のサポートや食事に関するアドバイス，年齢や個々のレベルに応じた練習メニューなども提供されます。これにより，教わる側は物理的な距離を気にせず，たとえば地方に住みながらも，都心に住んでいる一流のコーチからレッスンを受けることが



可能となります。

また教える側も、従来は数百万円以上かかることがあった初期コストをほとんどかけずにレッスン事業を開始することができます。その上、すきま時間を有効に活用してのレッスンが可能となり、月額数千円ほどの低価格で提供することが実現できました。また物理的な場所を所有する必要がないため運用コストを極力抑えることができ、事業として継続することも比較的容易となります。

なお、このアプリでは上記2つの課題を解決するだけでなく、従来の対面型レッスンでは手が届かなかった部分もカバーしています。

その1つ目は、客観的に自分の状態がチェックできることです。たとえば、練習中にコーチから「投げるときに肘が下がっているから、もう少し肘を上げたほうが良いよ」と言われても、本人からすると上げている「つもり」ということがよくあります。(これだけ上げているのに、何でいつも同じこと言われるの?)と納得できないこともあるかと思えます。そのようなときに動画を使った指導を受けることで、(確かにコーチが言うように肘が下がっているな…。もう少し上げるように意識してみよう)というように、客観的に自分の動画を見ることで納得して練習に取り組むことができます。

2つ目は、復習しやすい点です。レッスンで複数のことを教えてもらい、その場では分かったつもりになっていても、次の日にいざ1人で練習しようとしたら、(あれ?昨日コーチからいっぱい言われたけど、何が一番重要だったかな?)というようにすることもあるかと思えます。そんなときに動画があるといつでも見返すことができ、重要な指導ポイントを十分に理解しながら復習することができます。

アプリでのスポーツレッスンは、もはや従来のレッスンの補足的な位置付けではなく、プラスアルファのメリットを生み出す新たな形のレッスン



図-1 スポーツのオンラインレッスン「スポとも」

といえます。

このように、スポーツ業界では日々ITの活用が多方面で進んでいます。そして、新しいスポーツビジネスが生まれています。メディアサービス、スポーツアナリストビジネスなど、スポーツの世界では、さまざまなスポーツとITの化学反応が始まっているのです。こうした動きは今後ますます活発になり、スポーツの世界が変わっていく可能性を秘めています。

そんなスポーツの世界で、私たちはスポーツレッスンの常識を変えていこうと日々奔走しています。今までスポーツレッスンといえば、直接のフェイス to フェイスでの指導が一般的でした。しかし、これからはインターネットや動画を活用することでレッスンの機会を大幅に増やし、10年後には私たちの提供するサービスが広く一般的に使われている…そんな世の中にしていきたいと考えています。

(2016年11月8日受付)

与島大樹 ■ yojima@dank-1.com

大阪経済大学卒業。(株)エフアンドエムを経て、2013年に(株)だんきちを設立。スポーツレッスンに携わる事業に特化し、レッスンアプリ「スポとも」「スポともGC」「LessonNote」などのサービスを展開中。